

県地区対抗女子駅伝・県下一周駅伝

郷土の思いを胸に力走見せる

1月下旬から2月中旬にかけて「県地区対抗女子駅伝」と「県下一周駅伝」が開催されました。本町の選手も活躍し、出水チームの躍進に貢献しました。



集団の中でけん制しながら並走する田ノ上尚吾選手（前列左：出水のゼッケン）
同選手は本町の地域おこし協力隊としても活躍中[写真提供：南日本新聞社]



樋渡速太 選手



大西 豪 選手



中橋信人 選手



池田智史 選手

鹿児島県地区対抗女子駅伝

1月26日、第33回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会が開催され、本町出身の久保亜美さん（川床下出身・鹿児島銀行）と湯元七海さん（湯ノ口出身・出水中央高校）が選手として選出されました。

久保さんは各チームのエース級の選手たちが集う4区を走り、区間5位の力走を見せ、出水チームの総合第6位、躍進2位に大きく貢献しました。

鹿児島県下一周市郡対抗駅伝

2月15日から19日の5日間の日程で第67回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催され、本町の選手らが力走を見せました。

今回は田ノ上尚吾さん（菅牟田・長島町役場）、樋渡速太さん（菅牟田・長島町役場）、池田智史さん（幣串・陸上自衛隊国分）、中橋信人さん（本町・東町漁協）、大西



久保亜美選手（前列右から4人目）と湯元七海選手（後列左から2人目）

豪さん（指江・第二工業大学の5人が出場。丸橋雄太さん（本町・長島町役場）がコーチに選出されました。

5人の選手は出水チームの主力選手として3回ずつ出走し、出水チームは総合第7位となりました。なお前年度よりチーム全体の記録は約43分短縮しました。